

日本工学院専門学校	開講年度	2019年度	科目名	コンサートプロダクト2	
科目基礎情報					
開設学科	コンサート・イベント科	コース名	イベント企画コース	開設期	後期
対象年次	1年次	科目区分	必修	時間数	240時間
単位数	8単位			授業形態	実習
教科書/教材	イベントごとに必要な資料を準備する（アーティストの資料や会場の使用など）				
担当教員情報					
担当教員	古川敬祐		実務経験の有無・職種	有・マネジメント全般	
学習目的					
溢れる程の情報が回っている現代社会において、学生の『気づく力』や『洞察力』が不足している傾向がみられる。 いつでも欲しい情報を入手する事が出来るようになった反面、周りに変化に気づき、その本質を洞察する事ができない環境となっている事が原因と考察する。この状況を踏まえ本授業では、イベント業界において必要な基礎知識を学び、イベントスタッフとしての役割を理解することを主たる目的としながら、礼儀や挨拶、メールの書き方といった、社会人基礎力及び『気づく力』『洞察力』を身につける事を狙いとする。					
到達目標					
この科目では、大型商業施設でのイベントや、企業・地域と連携したイベント(産学連携プロジェクト)など、実践的なイベント制作を通して『社会とは何か』『社会が求める人材はどんな人材なのか』を考え、学生自らが日々探求し続ける事の重要性を理解する事が狙いである。またイベントスタッフとして、様々な状況にも対応できる知識を修得する為に、イベント検定の資格取得を目指し、多種多様に幅が広がっているイベント業界でも対応していけるスタッフとなる事が目標である。					
教育方法等					
授業概要	イベントスタッフとして必要な知識の理解をはじめ、個人ワークやグループワーク並びにフィールドワークを採り入れる事により、自らが考え行動し、課題を解決していく力を身につける。プレゼンテーションを実施することで他者へ伝える力が身についているかを確認する。また、授業中での行動、コミュニケーションを通じて、学生の「気づき」や「洞察力」をチェックする。				
注意点	スタッフ育成の学科として理由のない遅刻や欠席は認めない。ただ授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することが求められ、教員講師の発言等こまめにメモを取る事を心掛けてもらう。また主体的に情報を収集し、起こっている事象の原因や今後の推移について考えること。尚、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することが出来ない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	20%	グレード筆記試験としてイベントスタッフとしての知識が身についたかを確認する		
	小テスト	0%			
	レポート	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する		
	成果発表 (口頭・実技)	10%	企画力、プレゼン力について評価する		
	平常点	60%	イベント企画立案、積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	学園祭 イベント運営		学園祭を通してイベント運営を理解する		
2回	報告書作成法①		イベント終了後の報告書作成について理解する		
3回	報告書作成法②		イベント終了後の報告書作成について理解する		
4回	イベント検定試験対策講座		イベント検定に向けた知識を修得する		
5回	イベント広告論①		集客の仕方について知る		
6回	イベント広告論①		集客の仕方について知る		
7回	展示会ビジネスについて		B to B について理解する		
8回	修了イベント 企画立案①		企画書制作についての手法を知る		
9回	修了イベント 企画立案②		企画書制作についての手法を知る		
10回	修了イベント プレゼンテーション		伝わるプレゼンテーションの仕方を理解する		
11回	修了イベント 企画運営①		円滑な運営方法を理解する		
12回	修了イベント 企画運営②		円滑な運営方法を理解する		
13回	修了イベント振り返り		次のイベントへの改善点をまとめ対策を考える		
14回	修了イベント 報告書作成		協力企業への報告書制作について理解する		
15回	まとめ		全体の総括を行い2年次へのイベント実習に活かす		